

4. 応急対策の基本方針

4.1 基本方針

一般国道169号は生活道路であり迂回路も無くまた緊急交通路であることから早期啓開が必要と考えている。

応急対策実施方針：現地踏査結果等を基に崩壊機構及び範囲・規模推定し工法検討し早期工事実施を図る

国道に対し流盤の節理構造をすべり面として崩壊が発生したものと推定され、末端崩壊が起因の一つと推察されることから、末端部への鉄筋挿入工を実施。崩壊頭部の緩みに対しては高エネルギー吸収柵を実施し崩落土塊を捕捉する。

監視体制：計測器及び目視による監視体制を構築し日中の啓開を目指す

地表・地中計測データをリアルタイムで確認できる観測体制を構築し、基準値を超過した場合は迅速に通行止めを行う体制を整える。また崩壊地内に巡視路を設けモルタル吹付面の変状を目視点検を行う事により初期変状を確認し迅速に通行止めを行う体制を整える。

道路啓開：仮橋完成時

- ・ 計測を行い斜面管理を行いつながり片側交互通行を計画
- ・ 目視・ITVカメラによる監視を計画
- ・ 気象条件・斜面変動量の管理基準値を設定。超過時は通行止めを行う

但し緊急車両等に関しては

- ・ 鉄筋挿入工・高エネルギー吸収柵が**完成後**
- ・ 計測データ・目視点検で異常が認められない場合
- ・ 日の出～日の入りの間、暫定的に時間規制による通行を行う



4. 応急対策の基本方針

4.2 雨量による事前通行止め基準値

崩壊発生箇所周辺では雨による事前通行規制が実施されている

表4.1事前通行規制の規制値

規制区間	規制基準			
	延長 (km)	規制基準値(mm)		迂回路
		通行注意 時間雨量 連続雨量	通行止 時間雨量 連続雨量	
川上村伯母谷	23.9	20	25	河合
上北山村白川(村界)		70	110	
下北山村前鬼(村界)	13.8	20	25	寺垣内
下北山村小口(県界)		70	110	



上北山村白川(村界)



下北山村前鬼(村界)

下北山村小口(県界)

3 km

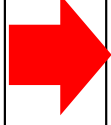
気象観測所: 寺垣内

北
南
西
東

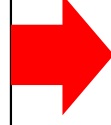
4. 応急対策の基本方針

4.3 緊急応急対策

- 現地踏査の結果より、勾配が30度程度の流盤構造をすべり面とした、末端崩壊の拡大により大規模な崩壊が発生したものと想定される。
- さらに、その周辺の地すべり地形が不安定化している懸念がある事から、地すべりの安全性向上及び崩壊対策を実施し、観測計器・目視による監視体制を構築し緊急車両等の通行確保を目指す方針である。



- ① 推定される岩盤地すべりに対しては、末端部を補強し安全率5%程度の上昇を目指す鉄筋挿入工を計画する
- ② 層厚1m程度の表層崩壊、及び落石に対しては、待ち受け型の高エネルギー吸収柵を計画する。



上記、斜面の緊急応急対策が完成後、仮橋完成までの暫定期間は観測計器及び監視員による巡視・計測による監視を行い、安全性を確認後、昼間(日の出～日の入り)のみ緊急車等の通行を確保。